

法政大学キャリアデザイン学会 研究会

2019年度 第3回

〈研究報告テーマ〉

新しい企業経営の動向に応じた 人材育成やキャリア支援は どうあるべきか



PwCコンサルティング合同会社 主任研究員/マネジャー

松原光代 先生

東京ガス(株)を経て、2010年学習院大学経済学研究科博士後期課程修了。博士(経済学)。東京大学社会科学研究所特任研究員、(株)東レ経営研究所ダイバーシティ&ワークライフバランス推進部主任研究員、学習院大学経済学部特別客員教授を経て、2017年4月より現職。専門は人的資源管理、女性労働。

主な業績:「短時間正社員制度の長期利用がキャリアに及ぼす影響」(2012年、日本労働研究雑誌)

『国際比較の視点から日本のワーク・ライフ・バランスを考える』(ミネルヴァ書房、2012年、分担執筆)

『ワーク・ライフ・バランスと働き方改革』(東京大学出版会、2014年、分担執筆)

『ダイバーシティ経営と人材活用』(東京大学出版会、2017年、分担執筆)等

最近の研究(今回の報告):

内閣府知的財産戦略推進事務局(2019)

『オープンイノベーションを活性化するための体制や環境整備に関する調査研究報告書』

10/11(金)
18:30-20:00

法政大学市ヶ谷キャンパス
大内山校舎 Y705教室



研究会運営委員: 武石恵美子・坂爪洋美

申し込みはこちらのQRコードから



法政大学
HOSEI University